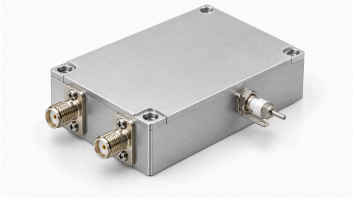
300 MHz–3 GHz 2入力LNA・合成モジュール



このLNAは300–3000 MHzで2つの増幅入力経路を1出力に合成します。代表値は利得30 dB、雑音指数2 dB、Psat 7 dBm、符号付き入力S11 −10 dBです。入力間アイソレーションと振幅・位相平衡は未規定で、飽和出力は線形出力定格ではありません。

代表DC電源5 V、電流170 mAで、貫通コンデンサと独立した接地片を使用。50 × 40 × 13 mm本体にSMA-Kメスを備えます。動作温度−40～+70 °C、保存温度−40～+85 °C。電源6 Vと入力12 dBmは絶対最大値です。

電気仕様

項目	値	単位
動作周波数	300–3000	MHz
利得	30 (代表値)	dB
雑音指数	2 (代表値)	dB
飽和出力電力（Psat） [1]	7 (代表値)	dBm
入力S11（資料の符号付き値） [2]	−10 (代表値)	dB
電源電圧	5 (代表値)	VDC
動作時電流	170 (代表値)	mA

[1] 飽和出力Psatであり、P1dBや保証線形出力ではありません。

[2] 資料の負のS11表記を保持し、正のリターンロスに変換しません。

絶対最大定格

項目	値	単位
電源電圧の絶対最大定格	≤6 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 6 VDC.)	VDC
入力電力の絶対最大定格	≤12 (絶対最大定格。この限界での連続動作や性能は確立されていません。 最大: 12 dBm.)	dBm
動作温度	−40–+70	°C
保存温度	−40–+85	°C

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
RF入力数	2
合成RF出力数	1

インターフェースと端子

インターフェース	仕様
増幅・合成経路	2つの増幅入力を1つの出力に合成 (資料は各経路または同時入力時の試験条件、入力間アイソレーション、振幅・位相平衡を規定していません。合成による性能向上の保証は導きません。)
RF入力コネクタ	SMA-Kメス
RF出力コネクタ	SMA-Kメス
DC電源端子	貫通コンデンサ
接地端子	接地金属片

機械仕様

項目	値	単位
本体寸法	50 × 40 × 13	mm
取り付け穴中心間距離	45.6 × 35.6	mm
取り付け穴	4 × Φ2.7 (4個の貫通穴。)	mm

文書に関する注意

仕様は製品の更新に伴い改訂される場合があります。設計を確定する前に、現行の文書改訂版と製品固有の要件を LCRF に確認してください。供給構成は承認済みの見積書および注文書類で定義されます。